

KALMOR®

オゾン脱臭装置



Goerlitz®



オゾンは反応性の高い物質で、その酸化分解能力を活かして、脱臭、除菌に優れた効果を発揮します。「Goerlitz」は、そのオゾンの力を利用して、ホテルや旅館の客室やオフィス、自動車などに染みこんだ臭いを短時間で強力に脱臭します。また、カビや細菌などに対しても除菌効果があり、脱臭と除菌を同時に行う事が可能です。室内を臭いの無い快適な空間に蘇らせる為に、弊社の「Goerlitz」を有効にご利用頂くと共に、未永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

お買い上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みにになり、正しくお使い下さい。
- 取扱説明書は、ご使用になる方がいつでも取り出せる場所に大切に保管して下さい。

目次

ご使用前に

安全の為に読み下さい 1-2
本体及び付属品・各部の名称 3

使用方法・点検・その他

使用方法 4
使用中の保守・点検 5
トラブルと対策・仕様 6
保証とアフターサービス 裏表紙

安全の為に必ずお読み下さい。

安全にご使用いただくための警告と注意

本製品の使い方を誤ると火災や感電などの事故を起こす恐れがあります。お客様の身体や財産に損害を与えないため、重要な事項を下記の表示で示しております。保守管理ご担当の方は、この取扱説明書を手近に置き、製品が正しく使われるよう遵守し、保守管理をして下さい。



危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うような切迫した危険がある事を示しています。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される事を示しています。



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損傷の発生が想定される事を示しています。

重傷 / 失明・感電・けが・やけど・骨折・中毒などで、後遺症があるもの、また、治療に入院や長期通院を要するものを指します。

傷害 / 治療に入院や長期通院を要さない感電・やけどなどを指します。

物的損傷 / 家屋・家財・設備機器及び家畜・ペットなどに関わる拡大損傷を指します。



危険

- メンテナンス以外で装置のオゾン吹き出し口のカバーを取ったり、分解、改造はしないで下さい。

本体の内部は高圧電流を使用しているため、感電して死亡する恐れがあります。※修理は販売店に御相談下さい。

- 本体を落としたり、強い衝撃を与えた場合は使用を中止し、販売店まで御連絡下さい。

本体の内部のオゾン発生フィルムが破損した状態で使用すると、火災や感電の恐れがあります。



警告

- お手入れの際は、必ず電源プラグを抜いてから行って下さい。

感電の原因になります。また、電源コードを抜くときは、コードを持たずにプラグを持って抜いて下さい。

- 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないで下さい。

傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを乗せる、束ねる、はさみ込むなど電源コードを傷つけると、漏電や感電の恐れがあります。※修理は販売店に御相談下さい。

- 本体に水をかけないで下さい。本装置は防水、防滴の仕様になっていません。

故障や感電の原因になります。

- 「仕様」に記載されている内容外で使用しないで下さい。

故障の原因になります。

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、AC100V 50/60Hz以外での使用はしないで下さい。

火災や感電の恐れがあります。

警告

- 電源プラグのほこりなどは、定期的に取り除いて下さい。
火災や感電の恐れがあります。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しを行わないで下さい。
感電の原因になります。
- 電源コード、接続アダプタ、電源プラグは差し込み口に根元まで確実に差し込んで下さい。
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。※傷んだ電源コード、接続アダプタ、電源プラグは使用しないで下さい。
- オゾン発生中は、絶対に室内に入らないで下さい。
オゾン発生中、人はもちろんペットは室内に入らないよう十分ご注意ください。オゾン濃度が高くなっているため、人体に障害を与える恐れがあります。
- オゾン発生中に、吹出口から息を直接吸い込まないで下さい。
吹出口から出る高濃度オゾンを吸うと、人体に障害を与える恐れがあります。

注意 オゾンに関する注意事項

- Goerlitzは高濃度オゾンによって高い除菌、脱臭効果を得る商品です。そのため、人やペットなどの動物がいる空間ではオゾンを発生させず、人やペットなどの動物がいない状態でのみご使用下さい。また、ご使用後はオゾン臭が消えてから入室・乗車して下さい。急いで部屋や車をご利用になる場合は、十分な換気を行って下さい。
(換気のために入室・乗車しても短時間であれば影響ありません。)

気中オゾンの生物への影響度		
濃度 (ppm)	生物への影響	備考
0.01~0.03	ほとんど臭わない	自然界の日中の濃度
0.04~0.06	わずかにオゾン臭を感じる	海岸、山あい、滝付近
0.06	はっきりとわかるオゾン臭がある	オキシダント環境基準
0.08	不快感がある、目がチカチカする	不快基準
0.1	人体への影響が始まる	日本産業衛生協議会許容勧告濃度
0.60~0.80	頭痛・せき・呼吸困難	
0.50~1.00	呼吸障害・モルモットの寿命短縮	
1~2	2時間暴露で頭痛・胸部痛など	

- 天然ゴム類は高濃度オゾンに触れると劣化しやすいので、直接触れないようご注意ください。シリコン(SI)・アクリル(ACM、ANM)・エチレンプロピレン(EPD・EPDM)・ブチル(HR)の各ゴムは、ある程度オゾン耐性が認められています。フッ素(FPM)は高濃度オゾンに触れても耐性があります。
- 錆びやすい品物は高濃度オゾンに直接触れると、サビが促進されますのでご注意ください。塗装皮膜・油脂皮膜のない鉄製品などは、オゾンの酸化作用での錆の進行が促進されます。アルミ製品・ステンレス製品は、一般的にオゾン耐性があります。SUS304・SUS316は高濃度オゾンに直接触れても耐性があります。
- オゾンの酸化作用・漂白作用で装飾性を損なう恐れがありますので、貴金属製品など貴重品はオゾンに直接触れないようご注意ください。
- 革製品は基本的に影響ありませんが、一部に質感が変化する場合がありますので、ご注意ください。

※参考引用:「新版オゾン利用の新技術」 サンヨー書房 平成5年2月 382頁 表11-41

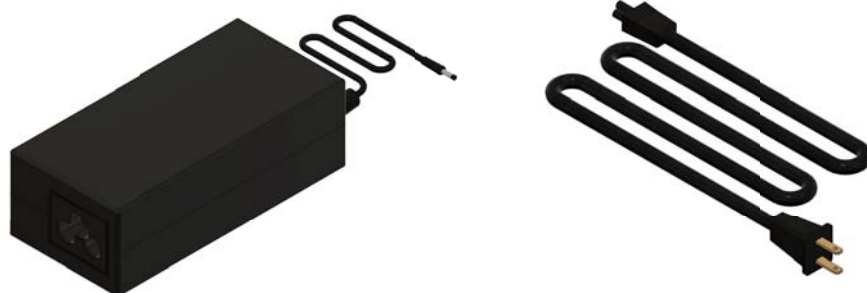
本体名称及び付属品・各部の名称

正面及び操作パネル



付属品

ACアダプター及び電源接続ケーブル



使用方法

1. 電源接続アダプタを本体の「DC-IN」部に差し込み、電源スイッチを「ON」にして下さい。
この時、ファンが回り始めます。※オゾンはこの時点では発生しません。
2. タイマーをご希望の時間にセットして下さい。
タイマーをセットすると、回っているファンが一度停止し、アイドリングを行います。
(約20秒～25秒)
また、同時にオゾンが発生し、黄色のランプが点灯します。
※このタイミングで部屋を退出して下さい。
3. アイドリングタイムが過ぎると、ファンが再度回転してオゾンが吹き出します。
4. 設定時間に到達すると、オゾン発生が止まり、オゾン回収モードに入ります。
電源スイッチを「OFF」にするまで、オゾン回収モードが続きます。
5. 使用後は電源スイッチを「OFF」にして、電源接続アダプタを抜いて下さい。

オゾン発生量切替とタイマーの設定

部屋のタイプ	大きさ	使用時間
シングルルーム	20m ²	約30分
ダブル・ツインルーム	30m ²	約30分
デラックスルーム	60m ²	約60分
スイートルーム	100m ²	約90分～120分
会議室・宴会場	120m ²	約90分～180分

※上記はあくまでも目安となります。ご利用する空間の臭いの強さと臭気質に応じて時間を切り替えて使用して下さい。

注意 オゾンに関する注意事項

本機は設定時間中、一定量のオゾンを連続して発生し続けます。オゾンはその性質上、分解、除去する対象物質が存在すると、それらと反応して消滅していきますが、対象物質が少ない場合は一時的に蓄積してしまいます。そのため、室内や車内の臭いや雑菌などが少ない場合、運転終了時のオゾン濃度が高くなる場合がありますので、ご注意下さい。

高濃度のオゾン長時間吸引し続けることは、人体や動植物にとって害になる場合があります。本機の運転中は人やペットが室内や車内に入らないようにし、観葉植物などは外に出して下さい。

使用中の保守・点検

放電ブレードとオゾン回収フィルターの点検・交換



図 1

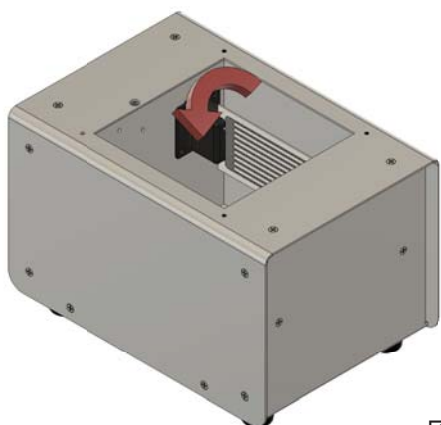
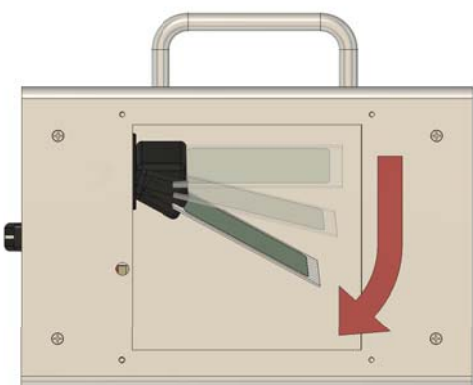


図 2



※上から見た図

図 3

※放電ブレードとオゾン回収フィルターの御購入に関しては、販売店かメーカーまでお問い合わせ下さい。

●放電ブレードの交換方法

<取り外し方法>

- ①本体の電源を切る。
- ②図 1 のように、本体上部の吹出口パネルのネジ（4箇所）を外して下さい。
※ネジは無くさないようにして下さい。
- ③放電ブレードの根元（黒色）を持ち、図 2 の矢印の方向に向かってひねると向きが斜めになり、ロックが外れます。

※放電ブレードは高電圧機器で、割れやすいため、外れにくい設計となっております。
その為、取り扱いには慎重をお願いします。

- ④図 3 の矢印の方向に、ブレードが斜めの状態のまま、矢印方向に傾けながら引き抜くと外れます。

※放電ブレードを真っ直ぐ引き抜くと、反対側の壁面に接触し、破損する可能性があります。
根元は、ある程度の力がかかっても折れにくい設計となっております。

<取り付け方法>

- ①取り外し方の逆手順で行えば、取り付けられます。
電極を傾けた状態で図 3 の矢印の逆方向から 2 つの穴にめがけて入れて下さい。
取り付け後、吹出口パネルをネジ（4箇所）で固定して下さい。

※電極の向きにご注意下さい。電極は緑の模様がある方が、取っ手側になります。

●オゾン回収フィルターの交換方法

- ①本体を逆さまにして、吸入口パネルのネジ（4箇所）を外して下さい。
※ネジは無くさないようにして下さい。
- ②フィルターを交換し、①の逆手順で吸入口パネルをネジ（4箇所）で固定して下さい。

その他

トラブルと対策

トラブルの内容	原因	対応
電源が入らない	●電源プラグがコンセントから抜けている	○プラグを差し込む
	●本体に電源コード接続アダプタが差し込まれていない	○電源コード接続アダプタをしっかりと差し込む
	●運転スイッチが入っていない	○運転スイッチを確認する
	●電源コードが断線	○電源コードの交換修理
作動音がしない又はオゾン臭がしない	●電気がコンセントまで達していない	○ブレーカー等を確認する
	●運転スイッチが入っていない	○運転スイッチを確認する
	●タイマー設定の時間外になっている	○タイマーのオゾン発生時間の設定を確認する
ランプが点灯しない	●電気がコンセントまで達していない	○ブレーカー等を確認する

仕様

商品名／型式	Goerlitz／G-Zero
オゾン発生量	1.5g/hr※自社基準による測定値
重量	本体:1,800g ACアダプター:400g
吐出風量	4m ³ /min
電源電圧	AC100V 50/60Hz
使用温湿度範囲	0~40℃(結露・水濡れなきこと) 35%~65%

消費電力	約90W
外形寸法	約W250×L200(取手L40) ×H160mm
オゾン回収機能	有り
ランプ表示	黄色:オゾン発生中 赤色:エラー
使用場所	室内・自動車内等密閉可能空間
アイドリング機能	20秒~25秒

※上記仕様及び外観は許可なく変更することがあります。